

産業研究所講演会開催

「EUの外交・安全保障政策」4/14(金)
「ハンガリー現代史とヒトの移動」4/15(土)
～西宮上ヶ原キャンパスで～

関西学院大学産業研究所は、EU(欧州連合)の行政機関である欧州委員会が世界中に展開する情報拠点「EU情報センター」に指定されています。その活動の一環として、4月14・15日、2日続けて専門家を講師に招いてEUに関する講演会を開催します。

2017年はドイツとフランスで総選挙が行われるなど欧州各国の動きは注目されています。ぜひ、本講演会の告知並びに取材をよろしくお願いいたします。

いずれも一般参加可、無料、事前申し込み不要。

講演会

「EUの外交・安全保障政策
:制度の変遷と現場での変化」



EUの外交・安全保障政策は、これまでに大きな制度変更を経ている。1992年のマーストリヒト条約による柱状構造の導入以降の制度の変遷を概観するとともに、ボスニア・ヘルツェゴビナを事例に、制度の変化が現場レベルに与えた影響など、中央(ブリュッセル)と現場(ボスニア)での変化を並列して考察し、制度変更のダイナミズムを明らかにする。

- 講師:中村 健史氏
(筑波大学人文社会系特任研究員)
- 日時:4月14日(金)9時～10時30分
- 場所:西宮上ヶ原キャンパスC号館103教室

講演会

「ハンガリー現代史とヒトの移動」



1956年のハンガリー事件は、1951年の難民条約成立後、はじめての大規模な難民流出をもたらした。事件後、ハンガリーはオーストリア国境を鉄条網で封鎖、1989年にその鉄条網を撤去した。これが半年後のベルリンの壁崩壊につながっている。本講演では、ヒトの移動の視点でハンガリーをとりまく国際関係について話す。

- 講師:荻野 晃氏(長崎県立大学国際社会学科教授)
- 日時:4月15日(土)15時10分～17時30分
- 場所:西宮上ヶ原キャンパス大学図書館ホール
- 問い合わせ先:産業研究所(0798・54・6127)

次号 2017年4月14日(金)発行予定

熊本地震から1年



4/12(水)・14(金)に報告会・座談会実施
今年度も学生のボランティア活動を継続

熊本地震から1年を迎える4月14日に合わせて、学生の現地でのボランティア活動の報告会や座談会、展示が行われます。

関西学院大学では、熊本地震発生後、特に被害の大きかった熊本県益城町に4回行き、延べ100人の学生が、ボランティア活動を継続的に行ってきました。被災地では継



続して支援することが何より重要と考え、今年度も、学生が主体となってボランティア活動を実施します。第1回は6月中旬を予定しており、その後も9月、11月、2月の合計4回を予定しています。

ぜひ、報告会を含め熊本地震に関する取り組みをご取材頂きますよう、よろしくお願いいたします。

【熊本地震ボランティア活動報告会】

ボランティアに参加した学生が、活動内容とその活動から感じたこと等を報告する。

- ・4月12日(水)12時50分～13時20分
(西宮上ヶ原キャンパスB号館101教室)

【熊本地震ボランティア活動座談会】

ボランティアに参加した学生が、一般学生に1対1で丁寧に活動の様子や感想などを伝える。報告会ではなかなか伝えられないリアルな感情を伝える。

- ・4月14日(金)12時50分～13時20分
(西宮上ヶ原キャンパスG号館208教室)

【ボランティアEXPOに出展】

学内のボランティアサークルを一堂に集めた新入生向けの合同説明会「ボランティアEXPO」に出展し、学生が熊本の現状や現地での活動を伝える。

- ・4月10日(月)、11日(火) 両日とも11時～16時
(西宮上ヶ原キャンパスG号館2階 会議室1)

【熊本地震パネル展示】

学生が印象に残った熊本の風景や人々の写真などを展示。

- ・4月10日(月)～14日(金)
(西宮上ヶ原キャンパス大学図書館エントランスホール)

